



暑い夏を盛り上げる「綱引き」

夏には様々な行事が開催され、賑やかな季節です。今回は数ある行事の中から「綱引き」を紹介します。



▲カナチチヂの時から両者の駆け引きは始まります。(平成29年撮影)



▲ムルイヂナは会場いっぱい蛇行しながら行進しました。(平成29年撮影)

【問合せ】市立博物館 ☎ 870-9317

戦前の宜野湾では、14の字で綱引きが行われ、特に字宜野湾は旧暦6月15日または25日に綱引きを行いました。その日は集落を前村渠と後村渠に分け、綱引き会場のジノーンウマイー(宜野湾馬場)に向けて道ジユネーをしました。ウマイーでは、双方の男性が取っ組み合うトーセー

夏を満喫するのはいかがでしょうか。以後、5年ごとに行われる字宜野湾の綱引きは、去年が開催年でしたが、コロナ禍の影響で今年に延期され、来る8月6日に「いこいの市民パーク」で行われる予定です。今年は、熱気溢れる綱引きで

や棒術を行い、女性たちは綱引き歌を歌い、氣勢をあげるスーガイーをしました。両者の気合が高まると、カナチチヂ(カナチ棒の挿入)により雄綱と雌綱を結ぶと、一斉に綱を引きました。

勝負が決まると、勝った方は綱を担ぎ、女性たちを先頭に、蛇行しながら綱置き場まで行進するムルイヂナ(戻り綱)を行いました。その綱引きも1941(昭和16)年に途絶え、戦後は集落が基地に接収されましたが、2006(平成18)年に行われた創作市民劇「じのん産泉」の公演を機に、2007(平成19)年、66年ぶりに綱引きが復活しました。

写真や図鑑などでは見る事のできない「紙」だからこそ見えてくる、動物たちの多様性や不思議さ、一枚の「紙」か

ご協力をいただき、一枚の紙から生まれる様々な動物たちをご紹介します。前回ご覧いただいた方はご存知かと思いますが、「所詮、紙でしょ」と思われは困ります！凄いです！！しかも、渡邊氏の光る技もパワーアップし、前回ご覧になった方は、今回の動物たちの折りの緻密さなどを比べながら見ると、更に楽しめると思います☆

「紙」だからこそ見えてくる、動物たちの多様性や不思議さ、一枚の「紙」か

市立博物館 イメージキャラクター 天女ちゃん

はくぶつかんの 部屋

某の64

帰ってきた「紙」紙ってる動物たち

「静」なる動物たちに、会ってみませんか？



リュウキュウヤマガメ (前回の作品)

クロイワトカゲモドキ (前回の作品)

◆夏の企画展 シン・紙ってるね！一枚折りの動物たち ~あの動物たちが帰ってきた!!~
 日 時: 7/22(土)~9/24(日)
 休 日: 毎週火曜日・祝日 入 場: 無料
 場 所: 市立博物館 企画展示室

◆市民講座 ※毎回、同じ内容となります。
 デモンstrayション①・② 一枚折りの技
 日 時: ①8/6(日) ②8/20(日) 14:00~16:00
 場 所: 市立博物館 研究室(2階)
 講 師: 渡邊 慧(折り紙作家)
 参 加: 無料 ※事前申込が必要(先着40人)
 申込期間: ①7/16(日)~8/5(土) ②7/30(日)~8/19(土)
 問合せ: 市立博物館 ☎098-870-9317

ら作り出す「神」技を、ぜひこの機会にご覧ください！
 なお、期間中に市民講座にて「デモンstrayション 一枚折りの技」を行います。ここでは、渡邊氏が「どのようにして一枚の紙から作品を創り上げていくのか」のお話や、実際に折っている様子をモニターに映し出し、その技を見てみるといった内容で、2回の日に分けて行う予定です。興味のある方は、ぜひ、お申し込みください！(内容は2回とも同じです)
 実物や標本ではない、一味違った動物たちを市民講座も含めながら、1度ならず2度・3度とお楽しみ下さい☆